

4月の初旬、近所の絵下谷川へお花見に行きました。

「普段外を歩く事が少なくなってきたけ、ええ運動になるわあ。きれいだなあ。

気持ちええなあ。」と喜ばれていました。

満開の桜は、とてもきれいでした。



癒やし

花があると、「この花は何かなあ？ ええにおいだなあ。」と、皆さんの会話が弾むので、職員が積極的に、自宅の庭に咲いている花や、山に行って採ってきた花を持って来るようになりました。

4月は、みつばつつじと八重桜です。





**デイホール ウッドデッキに
2匹の鯉を泳がせています。**

5月4日（木）のデイサービスひまわり昭和町の様子
打吹天女伝説のちぎれ絵をされました。

☆ 打吹天女伝説とは？



ぴ～ひゃら　ぴ～ひゃら　とんとんとん
　　ぴ～ひゃら　ぴ～ひゃら　とんとんとん
天女は子の幸せを祈り　子は母を想って太鼓を打ち笛を吹き鳴らす

その昔、天女が舞い降り二人の子を産みました。
天女は音楽が好きで、子ども達に太鼓と笛を教えました。
そして、長い年月が流れ、天女は天に帰る時が来ました。
天女は、羽衣をまとい、天に帰って行きました。
子ども達は、母である天女を慕って近くの山に登り、母に届けと
太鼓を打ち、笛を吹き鳴らしました。

それから、この山を打吹山（うつぶきやま）と呼ぶようになっ
たそうです。



天女の子どもを制作中です